

毎度ありがとうございます。明昌です。

今月号で100号を迎えました！長かったような、早かったような。皆様にお役に立てる内容を十分にお届けできていたでしょうか？これからも、「現場主義」の精神を忘れず、現場で起こる様々な問題解決に繋がる内容をお届けできればと思っております。皆様からのお声も大切な情報です。今後とも宜しくお願い申し上げます。

寒くなってきました

前号でお勧めしました『インキ攪拌』。前号を見てMIXスパイラルの導入をされたお客様もいらっしゃいました。冬を迎える前に毎年お勧めしている『冬場対策』ですが、最近現場で目にした『トラブルを呼ぶ状況』をまとめてお知らせ致しますので、皆様の現場と併せてご確認頂いて「トラブル予防」に繋げて頂ければと思います！

1. 水洗浄：地下水や山からの水を洗浄水やインキ希釈に使われているお客様は、水に含まれている成分がアニロックスのセルにこびりついたり、インキの成分劣化に繋がったりしやすい状況です。地下水には多くのカルシウム成分が含まれていることが多く、日常洗浄で使われるアルカリでは溶解しません。目詰まりが早まる可能性が高く、除去にも時間が掛かりますので要注意です。フィルターを付けて浄水されているお客様もいらっしゃいます。水洗浄も目詰まり予防の上では大切なファクターの一つです。
2. インキカスの除去：ディスペンサーの普及により、同じインキ缶を使うことが多くなっています。インキカスが多く付着したインキ缶を繰り返し使っている工場をよく見かけるようになりました。これらのインキカスを印刷機に吸い上げてしまうと、印刷不良だけでなく、アニロックスロールやゴムロール、ブレード、印版などに傷をつけてしまう恐れがありますので要注意です。継ぎ足して使う場合も、一定の期間が経てばきれいなインキ缶に移して（移す時にインキを濾すことも重要！）使うようにすれば、トラブル回避できますよ。また、過度な継ぎ足しはインキの成分劣化に伴う印刷不良の元ですので、定期的に新しいものに変えましょう。
3. ゴムロール・ブレード周辺のメンテ：インキを平滑に転移させるためには、ゴムロールやブレード周辺のメンテも重要です。ゴムロールが過度に硬化していると、インキを平滑にアニロックスロール全体にいきわたらせることが出来ず、色ムラなどの不具合に繋がります。また、過度に硬化してゴムロールの端部が割れていると、そこからのインキ飛散が多くなり、端部のカバー内部で固着したインキがアニロックスロールを傷つける恐れも！ブレード周辺のインキの除去が出来ていないと、アニロックスロールへの目詰まりや傷に繋がる危険性もあります。

上記はほんの一部ですが、特に気になる点を挙げてみました。皆様の現場と照らし合わせて頂き、トラブル予防に繋げて頂ければ幸いです！

フレキシソジャパン2018開催！

来たる11月13日（火）～14日（水）の2日間、東京・有明のTFTビルで日本フレキシソ技術協会主催で開催されますフレキシソジャパン2018に出展致します。プリントグループの新開発スリーブ・アダプターをはじめ、最新の印刷サンプルもご覧いただけます。是非ともご来場くださいませ。

フレキシソ印刷と共に65年～明日を見つめて 明日を拓く～



明昌株式会社

<http://www.meisho-c.co.jp>

〒532-0011大阪府大阪市淀川区西中島1-14-10(阪急電車・南方駅から徒歩1分)

TEL:06-6304-8340 FAX:06-6305-6788 E-mail:ask@meisho-c.co.jp